

[3312] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
微生物学			講義	富田雅弘	3年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	80	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト		
	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	授業内提出物			
												授業内活動	20	無				
											その他							
											計	100						
											フィードバックの方法							
当該科目のキーワード	《知識・理解》		食中毒・発酵					連絡または面談										
	《汎用的技能》		国家試験問題解決力															
	《態度・志向性》							アクティブラーニングの有無(内容)		無								
授業概要	人に危害を与える微生物と、発酵などに恵みをもたらす微生物がある。微生物が目に見えないため、生活での健康的役割はよく知られていない。微生物(細菌・酵母・カビ・ウイルス)の基本的な性質と人間と微生物の関係を中心に、健康と微生物との関わり、食品衛生、食品の変質、食品の製造に関連する微生物の性質を学修する。																	
授業の到達目標	微生物の性質を理解する。 食性病害(食中毒)を知り、その予防法などを知る。 微生物の有効利用を知る。 管理栄養士国家試験の問題が解けることを目標とする。																	
単位認定の要件	筆記試験、受講内活動の合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	微生物学の歴史 予習:(分) 復習:(分)																
	2	微生物の性質(カビ・酵母・細菌・ウイルス) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物の性質・増殖に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	3	微生物の性質(細菌類の増殖・生育環境・性質) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物の性質・増殖に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	4	微生物性食中毒(食中毒の分類・発生状況・殺菌・滅菌・消毒) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食中毒の分類と発生状況に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	5	微生物性食中毒(感染型食中毒) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物性食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	6	微生物性食中毒(毒素型食中毒) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物性食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	7	微生物性食中毒(その他の細菌・ノロウイルス・その他のウイルス等) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の微生物性食中毒とウイルス性食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	8	微生物が起す病気(経口感染症・人畜共通感染症) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品の媒介による感染症に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	9	プリオン病・寄生虫症 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学のプリオン病および食品から感染する寄生虫に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	10	微生物性汚染物質(かび毒) 予習:(60分)教科書のかび毒のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品中の汚染物質(かび毒)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	11	人間と微生物の関わり(腸内フローラ) 予習:(60分)腸内フローラについて調べる。 復習:(90分)腸内フローラについて理解する。																
	12	微生物を利用した食品(味噌・しょう油) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(味噌・しょう油)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	13	微生物を利用した食品(調味料・発酵食品) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(調味料・発酵食品)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
	14	微生物を利用した食品(酒類(発酵形式・ワイン・ビール)) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(酒類)に関する管理栄養士国家試験を解く。																
15	微生物を利用した食品(酒類(清酒・蒸留酒・その他の酒類)) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの微生物利用食品(酒類)に関する管理栄養士国家試験を解く。																	
教科書・教材	松岡麻男・小田隆弘・富田雅弘等共著「新入門食品衛生学」(南江堂)、 稲野新市、水品善之、小西洋太郎 編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅱ」(羊土社) 講義プリント配布																	
参考書・参考文献等	東匡伸等編、シンプル微生物学(南江堂)・生化学のテキスト・基礎から学ぶ遺伝子工学(羊土社)																	
履修上の注意等	管理栄養士国家試験(食品衛生学、食品加工学、生化学(遺伝子工学))に関わる内容である。また、配布したプリントは、ファイルして管理栄養士国家試験勉強に使用のこと。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3313] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
解剖生理学実験			実験	飯泉恭一	3年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験							
			1		○	○					期末レポート							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内提出物 50 有		
																授業内活動 50 有		
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—		—	○	○	その他	
											計		100	フィードバックの方法				
当該科目のキーワード			《知識・理解》		人体の構造と機能								実験ノートはコメントをつけて返却する。					
			《汎用的技能》		論理的思考と文章による表現								アクティブラーニングの有無(内容) 有					
			《態度・志向性》		安全に実験を実施するためのチームワーク													
授業概要			解剖生理学実験では、様々な実験・観察により、解剖生理学で学んだ知識の理解を深める。具体的には、視覚などの感覚に関する実験、血液・腎臓・眼球などの観察を行い、その構造と働きに関する深い理解を得る。さらにグループ単位でのプレゼンテーションを通して、共同で課題を解決する能力を養う。											グループディスカッションとプレゼンテーション				
授業の到達目標			様々な実験と観察により解剖生理学の知識の定着を図る。さらに、グループによるプレゼンテーションと質疑応答を通して、解剖生理学についての深い理解を得る。また、結果と考察を実験ノートにまとめる作業を通して、科学的な思考法と論理的な文章の書き方を学ぶ。															
単位認定の要件			実験ノートおよび実験に臨む姿勢(積極性等)により評価する。															
授業計画(予習・復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	序論および細胞の特徴 予習:0(分) 復習:180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。														
			2	皮膚感覚・重量感覚(2点識別閾の測定、ウェーバーの法則) 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			3	視覚の特徴と眼球の構造 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			4	腎臓の構造 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			5	心臓の構造 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			6	顕微鏡標本の作製と観察 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			7	PCR法の応用 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			8	総合討論 予習:120(分) グループごとに議論し、プレゼンテーションの準備をする。 復習:60(分) プレゼンテーションの内容を実験ノートに記載しまとめる。														
教科書・教材			配布資料を用意する。															
参考書・参考文献等			講義内で紹介する。															
履修上の注意等			危険な試薬を扱うことがあるので諸注意を遵守すること。															
実務経験との関連			実務経験の有無	無														

[3319] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
食品科学			講義	富田雅弘	3年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	80	無			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》															
	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	授業内提出物		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		食品の機能と表示									連絡または面談				
	《汎用的技能》		国家試験問題解決力													
	《態度・志向性》											アクティブラーニングの有無 (内容)	無			
授業概要	食品や食品衛生にはいろいろな法律や制度が制定されており、それらを守ることによって、食品の品質や安全生が確保されている。食品の機能性に関わる食品表示について講義する。また、管理栄養士国家試験出題基準範囲内の「食べ物と健康」分野でこれまで扱ったことできなかった内容が残っている。これらについて講義する。															
授業の到達目標	食品に関する制度や法律(食品表示・食品衛生)および管理栄養士国家試験の「食べ物と健康」分野で今までの講義で扱えなかった内容などを修得する。管理栄養士国家試験の問題が解けることを目標とする。															
単位認定の要件	筆記試験、受講内活動の合計が60点以上															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	遺伝関連化合物と遺伝子組み換え作物 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの遺伝子組み換え作物の表示や生化学の核酸の構造と機能に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	2	マスターテーブル法 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学のマスターテーブル法に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	3	人間と食品 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの人間と食品に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	4	食品の表示と規格基準 食品の表示制度と表示法 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの食品の表示に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	5	健康や栄養に関する表示制度 特別用途食品・特定保健用食品等 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの特別用途食品・特定保健用食品等に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	6	健康や栄養に関する表示制度 栄養機能食品・機能性表示食品等 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの栄養機能食品・機能性表示食品等に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	7	食品の三次機能 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの食品の三次機能に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	8	食品の容器包装・プラスチック 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品用の器具と容器包装に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	9	食品の物性・官能評価・機器分析 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの物性と官能評価と機器分析に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	10	酵素 酵素の分類 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰ・食品学Ⅱの酵素に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	11	酵素 酵素の分類 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰ・食品学Ⅱの酵素に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	12	酵素 食品に関わる酵素 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰ・食品学Ⅱの酵素に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	13	酵素 酵素の特性質 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学および生化学の酵素に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	14	酵素 酵素の調節 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学および生化学の酵素に関する管理栄養士国家試験を解く。														
	15	非アルコール性嗜好食品 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱのに関する管理栄養士国家試験を解く。														
教科書・教材	水品、菊崎、小西編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅰ」(羊土社)、 相野、水品、小西編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅱ」(羊土社)、 松岡・小田・富田等共著「新入門食品衛生学」(南江堂) 講義プリント配布															
参考書・参考文献等	特になし															
履修上の注意等	管理栄養士国家試験にかかわるところなので真剣に取り組むこと。配布したプリントは、ファイルして管理栄養士国家試験勉強に使用のこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【3321】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
食品科学実験			実験	富田雅弘	3年	後期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無		
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者	期末試験			
			1		○	○					期末レポート			
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	計	100	
	フィードバックの方法													
	当該科目のキーワード											レポート返却		
授業概要			≪知識・理解≫ 実験方法・思考法の理解 ≪汎用的技能≫ 報告書(レポート)作成 ≪態度・志向性≫ 協力								アクティブラーニングの有無(内容) 有			
授業の到達目標			食の安全・安心への関心は高まり、有害物質などの情報が多くなっている。食品加工を実際に体験し、加工食品の知恵や衛生面を考える。食品分析を基礎とし、食品の機能性や品質・鮮度や成分変化に関する実験を実施する。食品加工や食の安全性に関わる実験を通して、食の安全管理と健康との関連性を実験を介し学修する。									グループワーク・グループディスカッション		
単位認定の要件			レポート・実験技術習熟度・実験参加態度で60点以上											
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容										
			1	ガイダンス・包装を利用した食品 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) レポートを書き、理解を深める。										
			2	発酵食品の製造 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) レポートを書き、理解を深める。										
			3	加工食品の製造 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) レポートを書き、理解を深める。										
			4	食品の保存に関する検査 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。										
			5	食品の鮮度に関する検査 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。										
			6	食品に含まれる生菌数の測定 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。										
			7	食品の変化に関する検査 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。										
			8	総合討論 予習:(90分) プレゼンテーションの準備をする。 復習:(60分) 実験やプレゼンテーションについて理解する。										
教科書・教材			特になし(プリント配布)											
参考書・参考文献等			食品衛生学実験に関する実験書・食品加工学実習に関する実習書											
履修上の注意等			実験終了まで行うので、実験当日は、授業の後には予定を入れないこと。欠席した場合は、正当な理由がある場合に限り許可すが、回数が2回以上の場合、補講する。実際の実験では同じ時間で二つの内容に分かれて行う。											
実務経験との関連			実務経験の有無	無										

[3329] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
スポーツ・運動栄養学			講義		前田朝美		3年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
			必修		選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者						
2	15	30	2			○							期末試験	90	有		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート		無		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無
														授業内提出物	10	有	
														授業内活動		無	
													その他		無		
												計	100				
												フィードバックの方法					
当該科目のキーワード	《知識・理解》		運動時代謝反応の理解、競技特性、生活習慣病予防									期末試験は採点后返却し、解説を行う。					
	《汎用的技能》		スポーツ選手のアセスメントと栄養管理計画の立案														
	《態度・志向性》		スポーツ栄養マネジメント									アクティブラーニングの有無(内容)		有			
授業概要	スポーツ・運動する人は、健康増進と体力向上に食事内容と摂取タイミングが重要である。スポーツ活動に関する栄養素の機能や代謝など基礎的な理論や時期・目的に応じた栄養管理法について学修する。栄養は運動効果と競技力を高め、スポーツ・運動は健康栄養を高めるので、トレーニング計画・目標に対応する食事計画の立案など栄養サポートの実践力を習得する。											問題解決学習					
授業の到達目標	健康科学において「スポーツ・運動」「栄養・食事」「休息・睡眠」を科学的に理解することは重要である。本授業においては、「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」などの知識を基に、トピックスの食事管理から生涯スポーツ実践者の食事まで幅広く理解し、実践する力を養うことを目標とする。																
単位認定の要件	習得した知識の確認テストを行う。栄養サポート計画の立案、グループ討論、発表を総合的に評価する。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンスー スポーツ・運動における食事・栄養の役割ー 予習:(60分)シラバスと教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	2	エネルギー出納ー エネルギー消費量・基礎代謝量の推定ー 予習:(90分)エネルギー消費量・基礎代謝量の推定方法について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	3	エネルギーと体作りのための食事①ー糖質についてー 予習:(90分)基礎栄養学の「糖質の代謝」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	4	エネルギーと体作りのための食事②ー脂質についてー 予習:(90分)基礎栄養学の「脂質の代謝」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	5	エネルギーと体作りのための食事③ーたんぱく質についてー 予習:(90分)基礎栄養学の「たんぱく質の代謝」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	6	スポーツ・運動とビタミン 予習:(90分)「ビタミンの種類と特徴」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	7	スポーツ・運動とミネラル 予習:(90分)「カルシウム、鉄の代謝と調節」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	8	スポーツ・運動と水分補給 予習:(90分)基礎栄養学の「電解質と水」について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	9	スポーツ・運動と体のリズム 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	10	ウエイトコントロールと食事ー減量と増量ー 予習:(60分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	11	時期に応じた栄養サポートートレーニング期・試合期・休養期ー 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	12	種目別の栄養サポート 予習:(60分)教科書の該当部分を読んでおく。自分の興味のあるスポーツの競技特性について調べる。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	13	世代別のスポーツ・運動栄養 予習:(90分)応用栄養学のライフステージ別栄養について復習しておく。教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
	14	スポーツ・運動における栄養サポートの実践例 予習:(90分)栄養サポート計画を作成したい競技について、競技特性などを調べる。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
15	栄養サポート計画の立案 予習:(90分)栄養サポート計画の対象者の情報を整理しておく。 復習:(90分)栄養教育の方法や提案する献立などについて計画を立てる。																
教科書・教材	「栄養科学シリーズNEXT 運動・スポーツ栄養学 第4版」中村亜紀、青井涉、加藤秀夫、中坊幸弘編(講談社サイエンティフィク)																
参考書・参考文献等	「健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学 第7版」渡邊令子、伊藤節子、瀧本秀美編(南江堂)																
履修上の注意等	「基礎栄養学」や「応用栄養学」と関連する科目ですので、予習をして受講しましょう。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3332] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
食行動論			講義	前田朝美	3年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	80	有					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○		○	—	○	—	○	○	○
	計											100						
フィードバックの方法																		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		ライフステージ別の食行動									期末試験は採点后に返却し、解説する。						
	《汎用的技能》		カウンセリングを活かした栄養教育									アクティブラーニングの有無 (内容)		有				
	《態度・志向性》		学習者に寄り添った栄養教育の実践															
授業概要	行動科学やカウンセリング、コーチングについて事例を交えながら学修し、応用力を養う。また、ライフステージ別に食行動の特徴と栄養教育の実践について学修する。多様化する学習者のライフステージやライフスタイル、行動の準備性に応じた栄養教育について理解を深めるとともに、コミュニケーション力を高めることで、より学習者によりそった栄養教育を実践できる能力を養う。											問題解決学習						
授業の到達目標	①ライフステージ別の食行動の特徴を理解できる。 ②学習者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を理解できる。 ③カウンセリングやコーチングのスキルを活用してコミュニケーションをとることができる。 ④行動の準備性に於いて提案できるスキルを身に付ける。																	
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	栄養教育におけるカウンセリングの必要性 予習:(90分)2年次の栄養教育論の学習内容を確認する。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																
	2	妊娠期・授乳期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																
	3	妊娠期・授乳期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	4	乳・幼児期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	5	乳・幼児期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	6	学童期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	7	学童期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	8	思春期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	9	思春期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	10	成人期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	11	成人期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	12	高齢期の食行動の特徴と効果的な働きかけ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	13	高齢期の栄養教育実践事例とカウンセリングスキル 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。演習課題をまとめる。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																
	14	傷病者および障がい者の栄養教育 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																
15	まとめ～効果的な栄養教育について～ 予習:(90分)演習課題をまとめる。 復習:(90分)これまでの講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																	
教科書・教材	丸山千鶴子ほか著「健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 改訂第5版」(南江堂)																	
参考書・参考文献等	講義内で随時紹介する。																	
履修上の注意等	3年後期の栄養教育論実習へつながっていく講義です。学習内容をしっかり記録して、実習に備えましょう。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

【3334】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
栄養教育論実習			実習	前田朝美	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験							
			1		○	○					50	有						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	20	有		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内提出物	10	有
																授業内活動	20	有
														その他		無		
														計	100			
														フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		行動科学技法、アセスメント、集団栄養教育の方法									期末試験(実技)及び授業内活動の評価について、解説を行う。						
	《汎用的技能》		カウンセリングの実践、栄養教育の実施(模擬演習)															
	《態度・志向性》		栄養教育計画立案、栄養教育の評価・改善									アクティブラーニングの有無(内容)						
授業概要	健康を目標にした栄養教育マネジメントは、規則正しい食生活と運動習慣を念頭に、栄養評価、教育計画立案、実施、評価の一連のプロセスを学修する。栄養教育の実施は、教材作成や各学習方法の実習を行う。また、個人を対象とした栄養教育は、カウンセリングやコーチングの基礎技術についてロールプレイを行い、実践力を高める。集団を対象とした栄養教育は、メディア教材を利用した効果的なプレゼンテーションについて学修する。											グループワーク、ディスカッション、問題解決学習						
授業の到達目標	①学習者の特性をふまえて、栄養教育計画が立案できる。 ②計画に基づいて栄養教育を実施するスキルを身に付ける。 ③集団栄養教育の方法を理解する。 ④栄養教育実施後に評価できる。																	
単位認定の要件	到達目標の①～④の合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	オリエンテーション(班分け、実習の流れ等について)、アセスメントの実施 予習:(15分)配布資料の確認 復習:(30分)実習スケジュール・実習内容の確認																
	2	個人栄養教育のマネジメント～問題点の把握と栄養教育計画の立案～、集団栄養教育のマネジメント 予習:(45分)個人及び集団の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
	3	個人栄養教育のロールプレイ(1)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
	4	個人栄養教育のロールプレイ(2)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
	5	個人栄養教育のロールプレイ(3)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
	6	個人栄養教育のロールプレイ(4)生活習慣病予防の保健指導における模擬演習、集団栄養教育の指導案及び教材の作成 予習:(45分)個人の栄養教育事例について下調べをする。 復習:(45分)演習を完成させる。																
	7	集団栄養教育の実施と評価(1) 予習:(45分)発表準備をする。配布資料を読む。 復習:(45分)各グループの発表内容について意見をまとめる。実施班は報告書を作成する。																
	8	集団栄養教育の実施と評価(2)、まとめ 予習:(45分)発表準備をする。配布資料を読む。 復習:(45分)各グループの発表内容について意見をまとめる。実施班は報告書を作成する。																
教科書・教材	プリント配付																	
参考書・参考文献等	丸山千鶴子ほか著「健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 第5版」(南江堂)																	
履修上の注意等	2年後期の栄養教育論と3年前期の食行動論の内容をもとに実習を行うので、復習をしっかりと実習に臨むこと。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3336] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
実践介護食事論			講義	伊藤恵美子	3年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	100	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》																
	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—
当該科目のキーワード	《知識・理解》		各疾患の病態についての理解										期末試験の採点結果を開示する。				
	《汎用的技能》		栄養指標等の計算										アクティブラーニングの有無(内容)		有		
授業概要	各疾患における実践的な栄養状態の評価・判定、栄養管理および臨床栄養教育法を学修し、適切な治療食・介護食の必要性と臨床栄養的アプローチを習得する。介護を要する人の背景と現状を学修し、食事介護の意義から食の生理的な役割と高齢期における食事の重要性を考える。老化による生理機能や予備能、嚥下障害についての理解を深め、食事介護で配慮すべき点や食品と薬の相互作用についても学習する。											グループディスカッション					
	授業の到達目標													①超高齢社会における医療・福祉の現状を知る ②各疾患の病態生理と栄養代謝動態を理解する ③臨床検査値の異常とそのメカニズムを理解する ④栄養診断および病態別栄養マネジメントの理論と手法を理解する			
単位認定の要件		期末試験が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	高齢化における診療報酬制度と介護報酬制度 予習:(90分) P19~29まで熟読 復習:(90分) 診療報酬制度と介護報酬制度についてノートにまとめる。															
	2	高齢者の生理的特性と栄養管理①(低栄養、サルコペニア、フレイル) 予習:(90分) P45~53、P304~309まで熟読 復習:(90分) 低栄養、サルコペニア、フレイルについてノートにまとめる。															
	3	高齢者の生理的特性と栄養管理②(誤嚥性肺炎、脱水、褥瘡) 予習:(90分) P45 53、P349~354まで熟読 復習:(90分) 誤嚥性肺炎、脱水、褥瘡についてノートにまとめる。															
	4	脳血管疾患(摂食・嚥下障害の病態生理と食事形態の工夫)精神・神経疾患(認知症・パーキンソン病・摂食障害) 予習:(90分) P86~192、P267~276、P354~356まで熟読 復習:(90分) 摂食・嚥下障害の病態生理と食事形態の工夫、認知症・パーキンソン病・摂食障害についてノートにまとめる。															
	5	肝疾患①(肝炎、脂肪肝の種類と病因、病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P208~210、P214~219まで熟読 復習:(90分) 肝炎、脂肪肝の種類と病因についてノートにまとめる。															
	6	肝疾患②(肝硬変の病態生理と食事療法の意義) 予習:(90分) P211~214まで熟読 復習:(90分) 肝硬変の病態と食事療法についてノートにまとめる。															
	7	胆・膵疾患①(膵炎、胆石症の病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P219~225まで熟読 復習:(90分) 膵炎、胆石症の病態についてノートにまとめる。															
	8	胃腸疾患①(上部消化管・潰瘍、逆流性食道炎の病院および食事管理) 予習:(90分) P193~199まで熟読 復習:(90分) 上部消化管・潰瘍、逆流性食道炎の病態と食事管理についてノートにまとめる。															
	9	胃腸疾患②(潰瘍性大腸炎、クローン病の病態生理と栄養生化学) 予習:(90分) P200~204まで熟読 復習:(90分) 潰瘍性大腸炎、クローン病の病態生理と栄養生化学についてノートにまとめる。															
	10	胃腸疾患③(栄養管理の理論と実際) 予習:(90分) P193~P208まで熟読 復習:(90分) 消化器系疾患の栄養管理についてノートにまとめる。															
	11	胃腸疾患④(術前・術後の栄養管理) 予習:(90分) P253~258まで熟読 復習:(90分) 術前・術後の栄養管理についてノートにまとめる。															
	12	がんの栄養療法と栄養管理 予習:(90分) P321~331まで熟読 復習:(90分) がんの栄養療法と栄養管理についてノートにまとめる。															
	13	血液系疾患と呼吸器系疾患の病態生理と栄養療法と栄養管理 予習:(90分) P279~295まで熟読 復習:(90分) 血液系疾患と呼吸器系疾患の病態生理と栄養療法についてノートにまとめる。															
	14	先天性代謝異常症の病態生理と栄養管理 予習:(90分) P332~341まで熟読 復習:(90分) 先天性代謝異常症の病態生理と栄養管理についてノートにまとめる。															
	15	骨粗鬆症、神経性摂食障害、食物アレルギーの病態と食事療法の実際 予習:(90分) P296~299、p267~272、P310~314まで熟読 復習:(90分) 骨粗鬆症、神経性摂食障害、食物アレルギーの病態と食事療法についてノートにまとめる。															
教科書・教材	栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」講談社 (ISBN978-4-06-530112-8) ※2年次に購入済み																
参考書・参考文献等	参考文献は授業内で適宜紹介する。																
履修上の注意等	基礎科目(基礎栄養学・応用栄養学、栄養生化学、解剖生理学など)と関連させて予習・復習を行うこと。国家試験への合格は最低ラインである。より高度かつ最新の情報を収集し、探究する意欲を求める。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	高齢者施設、長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、適切な介護食・治療食の必要性と臨床栄養的アプローチ、高齢期における生理機能や予備能、嚥下障害について理解を深め栄養ケア・マネジメントの理論を学ぶ科目である。														

【3339】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
臨床栄養学実習			実習	伊藤恵美子	3年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者	期末試験						
			1		○	○					期末レポート 40 有						
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物 30 有		
															授業内活動 30 無		
		計		100		フィードバックの方法						その他					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					
												フィードバックの方法					
												計 100					

【3340】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
臨床科学実験			実験	伊藤恵美子	3年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修	選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭		食品衛生監視員・管理員			
1	8	30		1			○									
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	
	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○		—	—	—
	《知識・理解》		栄養指導や栄養管理に必要な特殊食品の理解													
	《汎用的技能》		医療機器の取り扱いとそのデータから必要栄養量の算出													
《態度・志向性》		チーム医療に必要な協調性や求められる自発的な行動を養う														
当該科目のキーワード	《知識・理解》		栄養指導や栄養管理に必要な特殊食品の理解											提出物は採点して返却する。内容が不十分な場合は、改善点を示す。		
《汎用的技能》		医療機器の取り扱いとそのデータから必要栄養量の算出											アクティブラーニングの有無(内容)	有		
《態度・志向性》		チーム医療に必要な協調性や求められる自発的な行動を養う											アクティブラーニングの有無(内容)		有	
授業概要		疾病の診断や治療に欠かすことのできない科学的根拠となるのが血液や尿の生化学的分析である。正常値と異常値の違いから内分泌・代謝異常のメカニズムを知り、臨床科学データに基づく臨床栄養の重要性を学修する。また、医療現場で活用されている栄養剤や治療用特殊食品、とろみ剤などの栄養組成や物性を科学的に評価・分析し、食事療法・栄養計画に応用するための知識と技術を修得する。											実習、グループワーク、グループディスカッション			
授業の到達目標		①臨床栄養管理の基礎となる各種生体指標についての理解を深める ②食事の組成・物性を科学的に評価・考察する ③治療用特殊食品(栄養剤、介護食、とろみ剤等)の特徴を知る ④総合的な栄養アセスメントの技術を修得する														
単位認定の要件		到達目標①～④の各項目が60点以上であること。														
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容													
		1	オリエンテーション/臨床検査値・栄養状態の総合評価、治療食の科学的評価について 予習:(45分)臨床検査値・栄養状態の総合評価、治療食の科学的評価について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)臨床検査値・栄養状態の総合評価、治療食の科学的評価についてノートにまとめ復習する。													
		2	栄養法の実践(輸液管理、経腸栄養剤/濃厚流動食の試飲:栄養組成・用途の評価・考察) 予習:(45分)輸液管理、経腸栄養剤、濃厚流動食について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)輸液管理、経腸栄養剤、濃厚流動食についてノートにまとめ復習する。													
		3	介護食の実践(食形態の工夫と科学的評価、とろみ剤・市販介護食の物性および官能評価) 予習:(45分)食形態の工夫、とろみ剤・市販介護食について予習する。 復習:(45分)食形態の工夫と科学的評価、とろみ剤・市販介護食の物性および官能評価についてノートにまとめ復習する。													
		4	治療用特殊食品の試食と評価(栄養組成、用途、アレンジ調理法の開拓・考察) 予習:(45分)治療用特殊食品について予習する。 復習:(45分)治療用特殊食品の試食と評価についてノートにまとめ復習する。													
		5	栄養アセスメント①(身体計測、体組成評価) 予習:(45分)身体計測、体組成評価について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)身体計測、体組成評価についてノートにまとめ復習する。													
		6	栄養アセスメント②(尿中成分の分析、腎機能評価) 予習:(45分)尿中成分の分析、腎機能評価について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)尿中成分の分析、腎機能評価についてノートにまとめ復習する。													
		7	栄養アセスメントと栄養ケア計画の実践(栄養アセスメント、エネルギー算出、栄養必要量の算定、これまでの実測値を用いて栄養ケア計画を作成) 予習:(45分)栄養アセスメント、エネルギー算出、栄養必要量の算定について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分)栄養アセスメント、エネルギー算出、栄養必要量の算定についてノートにまとめ復習する。													
		8	総合討論 予習:(45分)総合討論の準備をする。 復習:(45分)総合的な栄養アセスメントについてノートにまとめ復習する。													
教科書・教材		プリントおよび治療用特殊食品パンフレットを配布														
参考書・参考文献等		栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」(講談社)、糖尿病食事療法のための食品交換表(日本糖尿病学会)、腎臓病食品交換表(医歯薬出版)、「日本人の食事摂取基準」、「食品成分表」その他、参考書・参考文献は実習中に適宜紹介する。														
履修上の注意等		実習はグループ単位で実施し、レポートは個人で提出する。														
実務経験との関連		実務経験の有無	有	長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、生化学的分析、身体計測・体組成評価、栄養剤や特殊治療食品等の栄養組成や物性を科学的に評価・分析し食事療法・栄養計画に応用するための知識と技術を修得する科目である。												

【3341】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
臨床福祉栄養学実習			実習	伊藤恵美子	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格				単位認定の方法とフィードバックの有無								
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者	期末試験							
			1		○	○					期末レポート							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内提出物	40	有
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	授業内活動	60	無
																その他		
			計	100	フィードバックの方法													
当該科目のキーワード			《知識・理解》		栄養・食事の評価、個人栄養教育の方法、集団栄養指導教育の方法							授業内活動は授業内で評価を行い、解説をする。						
			《汎用的技能》		カウンセリングの実践、栄養教育の実施							アクティブラーニングの有無(内容)		有				
			《態度・志向性》		栄養教育計画立案、栄養教育の評価													
授業概要			健康・福祉・医療における対象者の栄養状態を的確に認定し、栄養状態を維持向上するための安全・適正な栄養補給法を修得する。栄養補給法の多様化が進み、食事で十分な栄養が確保できない場合、経腸栄養剤や静脈栄養剤を用いた栄養療法が活用されている。本実習では栄養管理の基本に、栄養補給法、栄養剤の選択判断等、多角的な面の知識とスキルを学ぶことを目的とする。									実習、グループディスカッション						
授業の到達目標			安全で適正な栄養補給法を修得するために①栄養マネジメントを理解する②栄養療法を実施するためのプランニングやモニタリングができること③栄養投与の方法を理解する④適切な治療食を選択ができること⑤接遇に理解を深める⑥病態別に食事療法の考え方、栄養指導のポイントを理解する⑦チームによる集約的な治療・ケアについて理解できる															
単位認定の要件			栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測(栄養マネジメントの基本を理解する)															
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測(栄養マネジメントの基本を理解する) 予習:(45分) 栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養管理の必要性、栄養アセスメント、身体計測についてノートにまとめ復習する。														
			2	栄養必要量の算出、栄養摂取量の把握、栄養計画の立て方(栄養マネジメントの実際を理解する) 予習:(45分) 栄養必要量の算出、栄養摂取量の把握、栄養計画の立て方について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養必要量の算出、栄養摂取量の把握、栄養計画の立て方についてノートにまとめ復習する。														
			3	約束食事箋、栄養管理計画書(治療食の概要を理解する、栄養計画の実際を理解する) 予習:(45分) 約束食事箋、栄養管理計画書について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 約束食事箋、栄養管理計画書についてノートにまとめ復習する。														
			4	食生活診断(栄養アセスメントの実際を理解する) 予習:(45分) 栄養アセスメントについて教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 栄養アセスメントについてノートにまとめ復習する。														
			5	集団栄養指導(食事療法の考え方、集団栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) 集団栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 集団栄養指導についてノートにまとめ復習する。														
			6	個別栄養指導(個々に対する食事療法の考え方、個別栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) 個別栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 個別栄養指導についてノートにまとめ復習する。														
			7	疾患病態別の栄養指導 がん(食事療法の考え方、栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) がんの食事療法の考え方、栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) がんの食事療法の考え方、栄養指導についてノートにまとめ復習する。														
			8	疾患病態別の栄養指導 慢性腎臓病(食事療法の考え方、栄養指導のポイントを理解する) 予習:(45分) 慢性腎臓病の食事療法の考え方、栄養指導について教科書の該当箇所を予習する。 復習:(45分) 慢性腎臓病の食事療法の考え方、栄養指導についてノートにまとめ復習する。														
教科書・教材			特になし															
参考書・参考文献等			参考文献は授業内で適宜紹介する。															
履修上の注意等			実習中は積極的に発言してください。															
実務経験との関連			実務経験の有無	有	高齢者施設、長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、医療・福祉対象者の栄養状態を的確に評価、栄養状態を維持向上するため栄養管理の基本、栄養補給法、栄養剤の選択判断等、多角的な面の知識とスキルを修得する科目である。													

[3343] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科									
地域健康栄養学			講義		小沼奈緒美		3年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験					
					2		○						期末レポート	20	無			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート	20	無	
	○	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	○	○	
												授業内小テスト	20	有				
											授業内提出物	40	有					
											授業内活動	20	有					
											その他							
											計	100						
											フィードバックの方法							
											授業内提出物、小テスト、授業内活動については、翌週に解説する。							
											アクティブラーニングの有無(内容)		有					
											地区踏査、グループディスカッション、グループワーク							
											地域では、個人・家族・組織・集団のすべての人が公衆栄養活動の対象となる。地域診断や公衆栄養アセスメントの手法を用いて、県(保健所)・市町村(保健センター)における公衆栄養活動について学修する。さらに弘前市を対象とした公衆栄養活動を演習を通して学ぶことで、公衆栄養マネジメントに必要な実践的知識を身に付けることを目的とする。							
											①行政(国、都道府県、市町村)と地域資源の役割、連携について理解する。 ②地域集団の栄養状態を把握し、アセスメント(評価)することができる。 ③ライフステージ別の公衆栄養プログラムの特徴を理解する。							
											レポート、小テスト等の合計が60点以上であること。							
											回	内 容						
											1	オリエンテーション、地域における栄養マネジメントの必要性 予習:(90分)本科目のシラバス、教科書の該当部分を読む。2年次の公衆栄養学を復習しておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											2	行政栄養士の業務への理解 予習:(90分)事前に指定した資料を読んでおく。青森県や身近な市町村の公衆栄養活動を調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											3	健康日本21(第3次)の基本方針 予習:(90分)健康日本21(第3次)計画を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											4	公衆栄養マネジメント 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。小テストに備える。						
											5	小テスト・公衆栄養アセスメント①(既存資料の活用方法) 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											6	公衆栄養アセスメント②(弘前市:基本情報の収集) 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											7	公衆栄養アセスメント③(弘前市:関連機関や組織、地区踏査計画) 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											8	公衆栄養アセスメント③(弘前市:地区踏査) 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											9	公衆栄養アセスメント④(アセスメント結果の発表) 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											10	公衆栄養アセスメント⑤(国民健康・栄養調査、観察法、質問紙法) 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											11	公衆栄養プログラムの目標設定と計画① 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											12	公衆栄養プログラムの目標設定と計画② 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。小テストに備える。						
											13	小テスト・公衆栄養プログラムにおけるプレゼンテーション 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。発表の準備を作成をする。						
											14	公衆栄養プログラムの発表・評価、レポート課題 予習:(90分)教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成をする。						
											15	健康危機管理 予習:(90分)事前に指示された資料を読んでおく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。						
											教科書・教材	地域公衆栄養学実習 講談社 市川知美・松本範子・金田直子						
											参考書・参考文献等	「カレント改訂公衆栄養学」建帛社 由田克士・荒井裕介 その他、参考資料等については、授業内に適宜紹介する。						
											履修上の注意等	授業内のミニレポートを評価に含めます。グループでの演習・発表については授業内で指示します。						
											実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、地域における個人・家族・組織・集団のすべての人々を公衆栄養活動の対象とした公衆栄養活動について、地域診断や公衆栄養アセスメントの手法を用い、実践的に学修する科目である。				

【3344】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科													
公衆栄養学実習			実習	小沼奈緒美	3年	後期	健康栄養学科													
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無								
1	8	30	必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員		期末試験							
			1			○	○						期末レポート 20 無							
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ				倫理観	社会的責任	生涯学習力	
			○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	計 100		
			《知識・理解》			公衆栄養活動の理解						授業内提出物については、授業内に解説する。								
当該科目のキーワード			《汎用的技能》			地域集団、疾病予防水準						アクティブラーニングの有無(内容) 有								
			《態度・志向性》			アセスメント、評価、モニタリング						グループディスカッション、グループワーク								
授業概要			健康寿命の延伸、健康格差を縮小するためには、地域の健康・栄養に関するデータを分析し、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組むことが重要である。健康課題を明確化し、優先順位をつけ、行政栄養士が効果的に公衆栄養活動を実践するための専門的な技術・技能の習得を目的とする。										グループディスカッション、グループワーク							
授業の到達目標			①各種統計・調査結果を収集・整理し、国と地方公共団体(県・特別区・市町村)の特徴を捉え、総合的に地域診断をすることができる。 ②地域の健康課題やライフステージに合わせた公衆栄養プログラムを立案できる。 ③食事調査法の特徴を理解し、調査の目的に応じて選択・活用することができる。 ④食事摂取基準の考え方を理解し、地域集団の評価に活用することができる。																	
単位認定の要件			レポート等の合計が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	オリエンテーション、食事調査① 予習:(45分) 本科目のシラバスを読んでおく。前期の地域健康栄養学のまとめを読み、食事調査に必要な知識を復習する。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			2	食事調査② 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			3	食事調査③統計処理・評価 予習:(45分) 配布資料、教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			4	大学生を対象とした公衆栄養プログラムの立案 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく、発表の準備をする。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			5	大学生を対象とした公衆栄養プログラムの発表・プログラムの展開①食環境整備 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく、発表の準備をする。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			6	公衆栄養プログラムの展開②特定保健指導の演習 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			7	期末レポート:公衆栄養プログラム 予習:(45分) 教科書の該当部分を読んでおく。参考書から県・市町村の行政の関連法規・公衆栄養プログラムを復習しておく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。																
			8	公衆栄養プログラム、まとめ 予習:(45分) 提出物に必要な資料、本教科の中での不明点を調べておく。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。提出物を作成する。																
教科書・教材			「地域公衆栄養学実習」講談社 市川知美・松本範子・金田直子																	
参考書・参考文献等			「カレント改訂公衆栄養学」建帛社 由田克士・荒井裕介																	
履修上の注意等			授業内のミニレポートを評価に含めます。グループでの演習・発表については授業内で指示します。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、健康寿命の延伸、健康格差を縮小するため、地域の健康・栄養に関するデータを分析し、行政栄養士が効果的に公衆栄養活動を実践するための専門的な技術・技能の習得を目的とする科目である。															

【3347】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
給食経営管理実習			実習	花田玲子	3年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者	期末試験					
学力士の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			1		○	○						期末レポート				
《知識・理解》			《汎用的技能》			《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》					
基礎知識の体系的理解			コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
多文化・異文化			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物 40 有		
文化・社会・自然			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内活動 50 有		
○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	その他 10 無		
—			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	計 100		
—			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	フィードバックの方法		
当該科目のキーワード			《知識・理解》	給食の品質管理								授業内提出物が不適切な場合は指導を行う。授業内活動の問題点は改善点を示す。				
			《汎用的技能》	マネジメントの数量的スキル								アクティブラーニングの有無(内容) 有				
			《態度・志向性》	リーダーシップとチームワーク 課題解決力												
授業概要			給食経営管理論、給食経営実践論および関連する授業で学んだ知識を深めるために、給食サービス実習(100食以上)を行う。食事計画、栄養計画、実施、評価までの実習を通して、給食業務の流れ、大量調理の方法と技術、衛生管理及び栄養教育のあり方、コンピューターを利用した管理業務の理解等の、給食サービスの総合的マネジメントを理解する。利用者の意見も積極的に取り入れ、食による健康支援を具体的に発展させる。										実習			
授業の到達目標			給食経営管理業務の総合的マネジメントを修得するために ①利用者のニーズをくみあげた栄養・食事計画ができる。 ②給食施設を使って、対象者のニーズを満たした食事を効率(人材、費用、設備、方法)よく提供できる。 ③対象者の栄養管理を目的とした給食の品質管理ができる。 ④給食を活用した栄養教育・情報提供ができる。 ⑤給食経営管理実習の改善案をだし課題を見つけることができる。													
単位認定の要件			授業内活動、提出物等合計60点以上であること													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容												
			1	オリエンテーション 実習の準備 1) 病院給食実習の栄養・食事計画 2) 衛生管理 3) 大量調理設備について 予習:(45分) 大量調理施設衛生管理マニュアルを読む。 復習:(45分) 衛生管理を復習する。												
			2	給食施設見学(設備・器具の説明) 予備実習、課題実習の説明、打ち合わせ 予習:(45分) 実習のてびきp67~111を読む。 復習:(45分) 作業の流れを復習する。												
			3	予備実習 グループ献立の試作 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省												
			4	課題実習(真空調理) グループ献立の試作 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省												
			5	課題実習(真空調理、再加熱) グループ献立の試作 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、真空調理レポートを作成する。												
			6	A班病院給食実習(常食、糖尿病食、腎臓病食) 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、アンケート集計												
			7	B班病院給食実習(常食、糖尿病食、腎臓病食) 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、アンケート集計												
			8	C班病院給食実習(常食、糖尿病食、腎臓病食) 病院給食実習のまとめ 予習:(45分) 作業分担、打ち合わせ 復習:(45分) 実習の反省、アンケート集計、栄養管理報告書、原価管理、実習のまとめレポートを作成する。												
教科書・教材			Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 西川貴子、深津智恵美ら 第5版(医歯薬出版株式会社)													
参考書・参考文献等			メニューコーディネートのための食材別料理集第三版(同文書院) NEXT献立作成の基本と実践(講談社サイエンティフィック)													
履修上の注意等			6回の実習での6つの役割を体験することになっている。休むと役割が理解できないため体調を整えて実習を休まないようにする。													
実務経験との関連			実務経験の有無	無												

[3348] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
栄養管理総合演習			演習	伊藤恵美子・小沼奈緒美・花田玲子	3年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
1	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末試験				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内小テスト		
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	90	有
														授業内活動	10	無
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		健康増進、栄養改善									授業内提出物(レポート)は毎回採点し、必要に応じてコメントを付けて返却する。				
	《汎用的技能》		地域活動、チーム医療									アクティブラーニングの有無(内容)		無		
	《態度・志向性》		多職種協働 職業理念、地域貢献													
授業概要	健康づくり、医療福祉の動向と管理栄養士業務を熟知するために、現職の管理栄養士を講師に招き演習を行う。テーマとして、①青森県の栄養改善活動の強化、②健康づくりと生活習慣病予防における管理栄養士の役割、③短命県返上における管理栄養士の任務、④高齢社会における管理栄養士の役割、⑤チーム医療における管理栄養士業務の確立などを取り上げる。実践に繋がる意見交換および議論により総合的に学修する。															
授業の到達目標	管理栄養士に求められる能力と任務を理解し、社会情勢に応じた問題解決力と自己研鑽力を培う。 4年次の給食経営管理臨床実習、臨床栄養管理臨床実習Ⅰ・Ⅱおよび公衆栄養学臨床実習に向けた課題発見力、問題解決力の向上と社会人としての心構えを修得する。															
単位認定の要件	積極的に授業内活動に取り組むとともに、提出物の合計が60点以上であること。提出期限を厳守すること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	オリエンテーション①														
	2	オリエンテーション②														
	3	健康づくりと一次予防における管理栄養士の役割①(外部講師:保健センター/管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	4	青森県の栄養改善活動の強化と管理栄養士の任務①(外部講師:保健所/管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	5	チーム医療・地域活動における管理栄養士業務の確立①(外部講師:病院/管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	6	チーム医療・地域活動における管理栄養士業務の確立②(外部講師:病院/管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	7	チーム医療・地域活動における管理栄養士業務の確立①(外部講師:病院/管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	8	チーム医療・地域活動における管理栄養士業務の確立②(外部講師:病院/管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	9	高齢社会における管理栄養士の役割(外部講師:高齢者福祉施設管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	10	幼年期における管理栄養士の役割(外部講師:保育所管理栄養士) 予習:(45分) 配布資料を読む。 復習:(45分) レポートをまとめる。														
	11	管理栄養士に求められる能力と任務の理解 ①														
	12	管理栄養士に求められる能力と任務の理解 ②														
	13	管理栄養士に求められる能力と任務の理解 ③														
	14	管理栄養士に求められる能力と任務の理解 ④														
	15	管理栄養士に求められる能力と任務の理解 ⑤														
教科書・教材	実習ノートおよび実習の手引きを配付する。															
参考書・参考文献等	参考資料は授業内で適宜紹介する。															
履修上の注意等	原則欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合においても、レポート課題または補講によって欠席回の内容を習得しなければ単位を認定しない。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	(伊藤・小沼)長年の病院栄養士・行政栄養士の経験を活かし、健康づくり及び医療福祉の動向と管理栄養士業務を熟知するため、現職の管理栄養士を講師に招き演習を行い、実践的な意見交換および議論により総合的に学修する科目である。													

[3422] 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																	
学校栄養教育論			演習	前田朝美	3年	前期	健康栄養学科																	
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無														
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	60	有											
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート		無										
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無							
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》											授業内提出物	10	有										
												授業内活動	30	有										
											その他													
											計	100												
											フィードバックの方法													
											○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》		学校給食、職務内容、食に関する指導									期末試験は採点后に返却し、解説する。授業内活動(模擬授業)は授業内で評価を行い、解説する。												
	《汎用的技能》		指導力、学習指導案の作成、模擬授業の実施																					
	《態度・志向性》		栄養教諭の使命感									アクティブラーニングの有無(内容)	有											
授業概要	児童・生徒の食生活の現状をふまえ、食に関する指導の必要性和栄養教諭に求められる使命について理解を深める。また、栄養教諭の役割や職務内容、学校給食の意義や役割等栄養教諭としての職務を行うための基礎知識を身に付ける。食に関する指導については、これまでの取組状況や課題について理解するとともに、具体的な指導方法として、全体計画や教科等での食に関する事項について学習し、演習や模擬授業を通して指導力を身につける。											ディスカッション、模擬授業												
授業の到達目標	①栄養教諭に求められる使命や職務内容を理解できる。 ②小学校及び中学校における食に関する指導と学習指導要領について理解できる。 ③食に関する指導の意義を理解し、指導案を作成することができる。 ④模擬授業や相互評価を通して、指導力の向上を目指すことができる。																							
単位認定の要件	期末試験は採点后に返却し、解説する。授業内活動(模擬授業)は授業内で評価を行い、解説する。																							
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																						
	1	児童・生徒の栄養の指導及び管理の意義～なぜ栄養教諭が必要か～ 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	2	児童・生徒の栄養の指導及び管理の現状と課題 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	3	栄養教諭の役割と職務内容 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	4	学校給食の教育的意義と役割、学校給食の歴史 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	5	子どもの発達と食生活、食生活に関する歴史と文化 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	6	個別栄養相談指導について 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	7	学校と家庭・地域の連携 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	8	食に関する指導の全体計画と学習指導案について 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。演習を完成させる。																						
	9	給食の時間における食に関する指導 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	10	特別活動、道徳における食に関する指導 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	11	教科等における食に関する指導(1)家庭科、保健体育との連携 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	12	教科等における食に関する指導(2)生活科、社会科、理科との連携 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)講義内容を教科書と資料で確認する。																						
	13	食に関する指導の模擬授業(1)学習指導案の作成 予習:(90分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(90分)指導案を作成する。																						
	14	食に関する指導の模擬授業(2)学習指導案の発表と意見交換 予習:(90分)発表者の指導案を確認する。 復習:(90分)模擬授業に対する意見をまとめる。																						
15	食に関する指導の模擬授業(3)模擬授業と指導効果の評価 予習:(90分)発表者の指導案を確認する。 復習:(90分)意見交換した内容を基にまとめを作成する。																							
教科書・教材	食に関する指導の手引き～第二次改定版～(文部科学省) 栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート(学建書院)																							
参考書・参考文献等	金田雅代著 栄養教諭論～理論と実際～(建帛社)																							
履修上の注意等	4年次には栄養教諭教育実習があるので、学習したことが活かせるように、配布物や記録ノートは整理して保管すること。																							
実務経験との関連	実務経験の有無	無																						

【3442】 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
被服立体構成実習			実習	工藤寧子	3年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験					
			1※					○	○		期末レポート					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	
	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—		—	○	—
	《知識・理解》		被服製作の理論と基礎的技術											授業内小テスト	20	有
	《汎用的技能》		計画を立て実行する力											授業内提出物	50	有
《態度・志向性》		各部位に適した縫い方を選択する能力										授業内活動	30	有		
当該科目のキーワード												その他				
授業概要		被服製作のための理論と基礎的技術、道具の使い方を身に付け、家庭科被服領域において実践できる知識・技能を習得する。また、アパレルCADシステムを使用しパターン設計した型紙を用いて、ハーフパンツを製作する。製作することで、日常着の構造を理解し、さらに体型に合った衣服の着心地のよさを知る。好みのデザインを作ることで、手作りの良さを体験する。										計	100			
授業の到達目標		1.被服製作のための理論 2.道具の使い方を身に付ける 3.基本の縫い方を身に付ける 4.家庭科被服領域において実践できる知識・技能の習得 5.作る喜びや関心がもてる										フィードバックの方法				
単位認定の要件		到達目標の合計が60点以上。										授業内提出物は、コメントを付けて返却する。授業内活動は、その場でコメントをする。				
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容										アクティブラーニングの有無(内容)			有
		1	授業の概要、立体構成と平面構成の違い、裁断法の種類、用具の説明、縫い方標本の作製 予習:(0分) 復習:(90分)基礎縫いの復習と指導上の留意点をまとめる													
		2	ミシンの取扱い方とミシン縫い 予習:(45分)ミシンの使い方を確認 復習:(45分)ミシン縫いの復習と指導上の留意点をまとめる													
		3	ミシン縫いの確認、縫い代の始末の標本作成 予習:(45分)縫い代の始末の方法を確認 復習:(45分)縫い代の始末の方法を振り返り、指導上の留意点をまとめる													
		4	巾着袋の製作 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる													
		5	パンツの製作①(裁断、しるしつけ) 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる													
		6	パンツの製作②(縫い代の始末、脇縫い) 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる													
		7	パンツの製作③(股下、股上縫い、すその始末) 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる													
		8	パンツの製作④(ウエスト縫い、ゴム通し、仕上げ) 予習:(15分)製作手順を確認 復習:(30分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる													
教科書・教材		「被服構成」建帛社、配布プリントを使用する。														
参考書・参考文献等		特になし														
履修上の注意等		材料費は実費負担となる。裁縫道具を使用するので持参すること。7ハレルCAD実習を履修していること。														
実務経験との関連		実務経験の有無	無													

[3443] 専門教育科目 選択科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
被服平面構成実習			実習		葛西美樹		3年	後期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員					
1	8	30			1					○	○						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダースhip 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	○ ○ ○			— — — — —				○ — — — — —					期末試験 期末レポート 授業内小テスト 20 有 授業内提出物 60 有 授業内活動 20 有 その他				
													計 100				
													フィードバックの方法				
当該科目のキーワード			≪知識・理解≫ 基礎縫い技術の習得、伝統文化の継承			≪汎用的技能≫			≪態度・志向性≫ 計画性、段取り力			期末試験終了後に解説を行う。授業内提出物・活動はコメントを記し返却する。 アクティブラーニングの有無(内容) 有					
授業概要			大裁女物単衣長着(ミニチュア浴衣)の製作を通して、日本の民族衣装である和服に関心を持ち、伝統文化の継承の理解を深める。また、平面構成の基本と形態を学習し、立体構成(洋服)との違いを理解する。技能の面では、手縫いの基礎的技術、柄を活かした裁断、浴衣の着装方法などを習得する。									グループディスカッション					
授業の到達目標			① 基本の縫い方を習得する。 ② 被服の構成の基本である立体構成と平面構成の違いを理解できる。 ③ 各部の名称や和服の裁断方法を理解できる。 ④ 家庭科の見方・考え方にもとづく「生活文化の継承」を理解できる。														
単位認定の要件			到達目標①～④がそれぞれ60点以上。														
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容													
			1	ガイダンス、基礎縫い 予習:(0分) 復習:(90分) 基礎縫い標本を完成する。													
			2	ミニチュア浴衣の製作 ①裁断としり付け 予習:(70分) アパレルCADを用いて浴衣の型紙を作成する。 復習:(20分) 手縫いの基礎技能を習得する。													
			3	ミニチュア浴衣の製作 ②背縫い、衿付け、袖づくり 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 指示書とおりに行っているか確認をし、課題を完結する。手縫いの基礎技能を習得する。													
			4	ミニチュア浴衣の製作 ③脇縫い、裾、袖付け 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 実習課題を完結し、記録シートを完成する。													
			5	浴衣の着装方法とたたみ方 予習:(30分) プリントや動画を用い、着装方法について知る。 復習:(60分) 着装後の浴衣の適切な管理方法について考える。													
			6	刺し子作品の製作 ①しり付けと刺し子 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 実習課題を完結する。													
			7	刺し子作品の製作 ②刺し子を活かしたものづくり 予習:(10分) ミシン縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 実習課題を完結し、記録シートを完成する。													
			8	男女の浴衣の構造上の違い・平面構成と立体構成の違い 予習:(45分) 学習事項について書籍や文献を参考に調べる。 復習:(0分)													
教科書・教材			『大学課程被服構成』今松、大島、才田、保刈共著(建帛社)、教科書の他にプリントを配付する。														
参考書・参考文献等			中学校家庭分野教科書、高等学校家庭基礎教科書														
履修上の注意等			ミシン縫いと手縫いを併用して製作するため、被服立体構成実習で学習した技能が基礎となる。														
実務経験との関連			実務経験の有無 無														

[3445] 専門教育科目 選択科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科										
被服学実験			実験		葛西美樹		3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	8	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員							
					1					○	○		期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》					
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ			倫理観	社会的責任	生涯学習力	
			○	—	○	—	○	○	○	○	○	—	—			—	—	○	○
			期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 60 有 授業内活動 40 有 その他 計 100 フィードバックの方法																
当該科目のキーワード			《知識・理解》		被服の基礎的知識の理解								実験レポートを返却し、解説する。						
			《汎用的技能》		被服の客観的評価														
			《態度・志向性》		環境に応じた適切な被服の選択								アクティブラーニングの有無(内容) 有						
授業概要			中学校・高等学校家庭科衣生活分野の学習内容を中心に、繊維や布の性能、染色、管理に関する実験を行ない、衣服素材の基礎的知識と実験方法を習得する。									グループディスカッション							
授業の到達目標			①衣服素材の特徴や性能を理解する。 ②適切な衣服の選択と管理の方法を習得する。 ③実験により得られた結果を科学的に捉え、中学校・高等学校家庭科衣生活分野の学習内容に活かすことができる。																
単位認定の要件			実験レポート(60%)、授業内活動(40%)の合計が60点以上。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	ガイダンス(実験の概要・レポートの書き方・実験室の使用方法など) 予習:(0分) 復習:(45分) 実験書を読み、レポート作成のための準備をする															
			2	繊維の鑑別(断面・側面観察) 予習:(30分) 実験内容について、書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める															
			3	糸の構造・織物の構造・編物の構造 予習:(30分) 実験内容について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める															
			4	布の性能 ①保温性 ②吸水性 予習:(30分) 保温性、吸水性について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める															
			5	布の性能 ③防しわ性 予習:(30分) 衣服のしわについて書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める															
			6	界面活性剤の性質、しみ抜き 予習:(30分) 実験内容について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める															
			7	繊維の染色実験 予習:(30分) 実験内容について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める															
			8	実験のまとめ・家庭科の授業における活用(発表・ディスカッション) 予習:(90分) 発表のための準備をする 復習:(0分)															
教科書・教材			実験方法等を記載した実験書を配付する。																
参考書・参考文献等			被服材料学・被服整理学・被服学に関する各書籍 中学校家庭分野教科書・高等学校家庭基礎教科書																
履修上の注意等			次回の実験内容を予習し、実験に臨むこと。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

[3503] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
家庭科教育法Ⅲ			講義	葛西美樹	3年	前期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無				
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験			
			2					○	○					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》
	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	—	○	
	期末レポート													
授業内小テスト	20	有	授業内提出物	30	有	授業内活動	50	有	その他					
計											100			
フィードバックの方法														
○ — — — — — — — — — — ○														
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家庭科教育法Ⅰ・Ⅱの学習内容の体系的理解									授業内小テスト・提出物・活動は、授業内でコメントをする。		
	《汎用的技能》		生活の課題を設定し、解決する力											
	《態度・志向性》		協力・協働、指導力の向上									アクティブラーニングの有無(内容)	有	
授業概要	家庭科教育法Ⅰ・Ⅱで学修した内容をもとに、主に中学校を想定した家庭科の指導計画や学習指導案、教材を作成し模擬授業を行う。実践後に課題を明確にし授業改善に取り組み、授業力・指導力の向上をめざす。											グループワーク グループディスカッション 模擬授業		
授業の到達目標	①家庭科の意義や目標を理解し、適切な学習指導案が作成できる。 ②教材研究の方法が理解できる。 ③模擬授業を実践し、観察する方法がわかる。													
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	家庭科の目標および内容の確認 予習:(90分) 家庭科教育法Ⅰ・Ⅱの学習内容を振り返る。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	2	家庭科で育てたい能力と学習課題 予習:(90分) 学習指導要領を参考に家庭科で育てたい資質能力について確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	3	教科書の分析(中学校・高等学校) 予習:(0分) 復習:(180分) 分析結果をパワーポイントにまとめる。												
	4	教科書の分析結果の発表(中学校・高等学校) 予習:(90分) 発表の準備をする。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	5	中学校家庭科家庭分野の学習評価について 予習:(90分) 新学習指導要領に対応した学習評価 中学校家庭科家庭分野の動画(NITS)を視聴する。 復習:(90分) 新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 高等学校家庭科 共通教科家庭の動画(NITS)を視聴する。												
	6	高等学校家庭科の学習評価について 予習:(90分) 新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 高等学校家庭科 専門教科家庭の動画(NITS)を視聴する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	7	生活文化の継承に関する授業の提案 ・ジェンダーの視点 ・地域の特徴 ・教科横断型学習 など 予習:(90分) 学習指導要領を参考に家庭科の見方・考え方について確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	8	模擬授業の意義と参加の方法、学習指導案の作成 予習:(0分) 復習:(180分) 模擬授業のための題材設定や授業の流れについて準備する。												
	9	学習指導案作成、教材作成 予習:(0分) 復習:(180分) 学習指導案の作成。												
	10	模擬授業① 家庭生活と家族 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。												
	11	模擬授業② 衣生活 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。												
	12	模擬授業③ 食生活 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。												
	13	模擬授業④ 住生活 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。												
	14	模擬授業⑤ 消費生活・環境 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。												
15	模擬授業の自己評価と相互評価、学習指導案の修正 予習:(90分) ワークシートの見直しや模擬授業全体について振り返る。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正。													
教科書・教材	中学校教科書「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」(東京書籍) 中学校教科書「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」(開隆堂) 高等学校教科書家庭科「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくらう」(大修館書店)													
参考書・参考文献等	中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 家庭編(文部科学省)													
履修上の注意等	家庭科教育法Ⅰ・Ⅱで学習したことが基本となる。資料を持参すること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

[3504] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
家庭科教育法IV			講義	葛西美樹	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	20	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト		
	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—	—	—	○	授業内提出物	30	有	
	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—	—	—	○	授業内活動	50	有	
											計	100						
											フィードバックの方法							
											○	—	—	—	○	その他		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家庭科の学習内容の理解									期末試験は試験後に解説をする。授業内提出物・活動は授業内でコメントをする。						
	《汎用的技能》		ICTを活用した授業の展開															
	《態度・志向性》		協力・協働、指導力・授業力の向上と充実									アクティブラーニングの有無(内容)	有					
授業概要	家庭科教育法Ⅰ～Ⅲにおいて習得した中学校および高等学校家庭科に関する基礎的な知識・理解を深めるとともに、より具体的な授業実践を重ね、自己の課題を明確にし、探求する。また、動画教材の作成や模擬授業を通して、ICTを活用した授業展開について理解を深める。											模擬授業 グループディスカッション						
授業の到達目標	中学校・高等学校の家庭科教育に関する専門的知識・技術を習得し、授業展開ができるようになる。また、学校における具体的な場面を想定し、実践や解決の方法を見出すことができる。 ①学習指導案の作成 ②教材の作成 ③模擬授業の実践																	
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	家庭科におけるICTを活用した授業実践例の調査 ①文献 ②教科書分析 予習:(90分) 授業実践例の文献を検索し、資料として準備する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。																
	2	GIGAスクール構想に基づいた家庭科の授業展開 予習:(90分) 文部科学省HP「教科等の指導におけるICTの活用」を確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。																
	3	家庭科の指導におけるICTの活用について 予習:(90分) 文部科学省教科調査官による動画を視聴する。 復習:(90分) 第1回～第3回の授業内容を振り返り、家庭科におけるICTの有効な活用について自身の考えをまとめる。																
	4	教材研究 消費生活に関する授業づくりと実践に向けた動画教材の作成 予習:(90分) 消費生活領域の学習内容を確認し、実践可能な内容を抽出する。 復習:(90分) 実践のための準備と動画作成。																
	5	実験実習の指導時に留意する点(「安全管理」「安全指導」の観点から) 予習:(90分) 学習指導要領を参考に実験実習時に予想される危険事例を考える。 復習:(90分) 安全対策について自身の考えをレポートにまとめる。																
	6	家庭科技術検定の意義と内容 予習:(90分) 家庭科技術検定について概要を調べる。 復習:(90分) 筆記試験の内容を解きながら、指導方法について考える。																
	7	家族と保育に関する体験授業を取り入れる際の注意点 予習:(90分) 事前に配付した資料を読む。 復習:(90分) 体験授業を計画・実践する際の注意点について自身の考えをまとめる。																
	8	教材研究 生活文化の継承に関する授業づくり 予習:(90分) 家庭科教育法Ⅲで学んだ「生活文化の継承」について振り返る。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。																
	9	弘前市 小・中学校家庭科作品展からみる実技指導の実際と展示計画等についての探求・考察 予習:(90分) 作品展を視聴する。 復習:(90分) 実技指導と作品展の意義について考えをまとめる。																
	10	ICT機器や教材を活用した授業実践のための学習指導案・教材の作成 予習:(90分) 家庭科教育法Ⅰ～Ⅳを振り返り、ICTを活用した授業づくりについて考察する。 復習:(90分) 模擬授業のための準備をする。																
	11	模擬授業の実施と授業研究 ICT機器や教材を活用した授業づくり① 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。																
	12	模擬授業の実施と授業研究 ICT機器や教材を活用した授業づくり② 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。																
	13	模擬授業の実施と授業研究 ICT機器や教材を活用した授業づくり③ 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。																
	14	模擬授業の実施と授業研究 ICT機器や教材を活用した授業づくり④ 予習:(90分) 学習指導案と教材の作成。 復習:(90分) 授業内容の振り返り、指導案等の修正、ワークシートの記入。																
15	模擬授業全体の自己評価・相互評価、家庭科教育法のまとめ 予習:(90分) ワークシートの見直しや模擬授業全体について振り返る。 復習:(90分) 家庭科教員に求められる能力について総合考察し、自身の考えをまとめる。																	
教科書・教材	中学校教科書「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」(東京書籍) 中学校教科書「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」(開隆堂) 高等学校教科書家庭科「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくらう」(大修館書店)																	
参考書・参考文献等	中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 家庭編(文部科学省) 教育の情報化に関する手引き(文部科学省)																	
履修上の注意等	家庭科教育法の総まとめの科目となるので、これまでの課題を明確にし解決するよう努めること。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3603] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
教育行政			講義	中村恵佑	3年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験					
				2			○	○	○		期末レポート	40	無			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート	40	無	
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	授業内提出物	60	有	
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》												授業内活動			
												その他				
												計	100			
												フィードバックの方法				
当該科目の キーワード	《知識・理解》		教育制度、教育改革									毎授業後に授業内課題の提出を求める。次回にそれに対するコメントを返す。	アクティブラーニングの有無 (内容)	無		
	《汎用的技能》		教育改革のメリット・デメリット													
	《態度・志向性》															
授業概要	この授業では、主に、(1)教育・公教育の理念や、教育法規、教育行政・学校経営といった教育制度に関する基本的な知識・仕組みの概要と、(2)教育課程・学習指導要領や学校病理、教員の職務、教育財政、入試、学校安全などに関する各教育制度の内容や最新の改革動向という2点について学ぶことを通じて、現代社会における教育制度のあり方や課題について理解・考察を深めることを目指す。															
授業の到達目標	(1)教育制度に関する基本的な知識や仕組みの概要が理解できるようになること。 (2)現代社会における教育制度に関する問題について、多角的・俯瞰的に理解できるようになること。 (3)昨今の教育制度改革の方向性や今後の教育制度のあるべき姿について、考察・表現できるようになること。															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	授業のガイダンス 予習:(分) 復習:(分)														
	2	教育制度の基本を学ぶ①(教育、学校、教育制度、教育法規) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:(分)														
	3	教育制度の基本を学ぶ②(教育行政、学校経営、戦後の教育制度改革) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	4	教育課程と学習指導要領に関する制度①(教育課程、学習指導要領の仕組みと新学習指導要領の概要) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	5	教育課程と学習指導要領に関する制度②(英語教育、シティズンシップ教育、ESDなど) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	6	教育課程と学習指導要領に関する制度③(主権者教育、消費者教育、道徳教育など) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	7	教育課程と学習指導要領に関する制度④(ICT教育、プログラミング教育など) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	8	いじめ、不登校、体罰に関する制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	9	教員の養成・採用・研修や職務に関する制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	10	教育財政と教育費に関する制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	11	多様な教育・学校のあり方を実現する制度①(コミュニティスクール、インクルーシブ教育、夜間中学など) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	12	多様な教育・学校のあり方を実現する制度②(株式会社・NPO法人による学校、公設民営学校、フリースクール、ホームスクールなど) 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	13	大学入試に関する制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
	14	学校安全・安全教育に関する制度 予習:授業の最後で示す、次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)														
15	授業のまとめ+最終レポートに関する説明 予習:(分) 復習:(分)															
教科書・教材	授業中に資料を配布する。															
参考書・参考文献等	各回の授業内で随時紹介する。															
履修上の注意等	特になし															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

[3605] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
特別支援教育論			講義	松本敏治	3年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	50	無			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	授業内提出物	30	無
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》												授業内活動	20	無	
												その他				
												計	100			
												フィードバックの方法				
当該科目のキーワード			《知識・理解》		基礎知識の体系的理解					講義中に返却						
			《汎用的技能》		問題解決力											
			《態度・志向性》		社会的責任 倫理観					アクティブラーニングの有無(内容)		無				
授業概要			通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上又は生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法の理解を目指します。													
授業の到達目標			「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行などの近年の制度上の動向や学校教育の現状を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築における特別支援教育の充実・推進に資するための基本的な知識・支援方法等を中心に授業を進めます。授業の展開にあたっては、多様な見方・考え方に触れ視野の拡大を図るため、講義のほか発表やディスカッション等の場面を適宜設けます。													
単位認定の要件			授業内活動、授業内提出物、期末テストの総計が60点以上													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容												
			1	特別支援教育の歴史の変遷と現状の概要 予習:(90分)特殊教育と特別支援教育の違いを述べよ 復習:(90分)特別支援教育の現状の課題を述べよ												
			2	障害者差別解消法と合理的配慮、インクルーシブ教育システム 予習:(90分)障害者権利条約と障害者差別解消法について述べよ 復習:(90分)合理的配慮について述べよ												
			3	特殊教育と特別支援教育の相違点及び特別支援教育に関わる制度改正のポイント 予習:(90分)特殊教育と特別支援教育の対象者はどのように変化したか 復習:(90分)普通学級に在籍する特別支援教育対象者について述べよ												
			4	特別支援教育の場における具体的配慮 予習:(90分)特別支援教育における配慮とはなにか 復習:(90分)具体的配慮としてどのようなものがあるか												
			5	知的障害の生活・学習の困難と教育内容(1) 予習:(90分)知的障害の基本的な定義はなにか 復習:(90分)知的障害の人々が抱える困難とはなにか												
			6	知的障害の生活・学習上の困難と教育内容(2) 予習:(90分)知的障害の原因として何が考えられるか 復習:(90分)出生前診断などの問題をどう考えるか												
			7	視覚障害の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)視覚障害の定義はなにか 復習:(90分)視覚障害の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			8	聴覚障害の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)聴覚障害の定義はなにか 復習:(90分)聴覚障害の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			9	肢体不自由の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)肢体不自由の定義はなにか 復習:(90分)肢体不自由の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			10	病弱・身体虚弱の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)病弱・身体虚弱の定義はなにか 復習:(90分)病弱・身体虚弱の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			11	重度重複障害の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)重度重複障害の定義とはなにか 復習:(90分)重度重複障害の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			12	発達障害・LDの学習上の困難と教育 予習:(90分)LDの定義はなにか 復習:(90分)LDをどのように理解するか。教育支援方法としてどのようなものがあるか												
			13	注意欠如多動症(ADHD)の特性と理解・対応 予習:(分)注意欠如多動症の定義はなにか 復習:(分)注意欠如多動症の人々の特徴と支援・対応・教育方法としてどのようなものがあるか												
			14	自閉スペクトラム症の特徴と理解・対応 予習:(90分)自閉スペクトラム症の定義はなにか 復習:(90分)自閉スペクトラム症の人々の特徴と支援・対応・教育方法としてどのようなものがあるか												
			15	その他の特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒(貧困・外国語を母語とする子どもたち) 予習:(90分)特別な教育的ニーズを有する児童生徒としてどのような子どもが考えられるか 復習:(90分)貧困・外国語を母語とする子どもたちが抱える問題としてどのようなものがあるか												
教科書・教材			特になし													
参考書・参考文献等			特になし													
履修上の注意等			特になし													
実務経験との関連			実務経験の有無	無												

[3608] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
総合的な学習の時間の指導法			講義	齋藤昭	3年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
			○	—	—	○	—	○	○	—	—	—	○	期末レポート	50	有	
			—	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—	○	授業内小テスト		
			—	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—	○	授業内提出物	30	有
													授業内活動	20	無		
													その他				
													計	100			
													フィードバックの方法				
当該科目のキーワード			≪知識・理解≫ -目標・内容の理解・探究課題・指導計画・評価		≪汎用的技能≫ -探究的な学習の過程と思考方法(比較・分類・関連等)の技法						≪態度・志向性≫ -見通しと振り返り			期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。			
授業概要			学習指導要領解説に記載されている目標や内容について理解する。特に総合的な学習の時間における「探究的な見方・考え方」を理解するとともに、実践事例を紹介しながら、他教科等との横断的視点に立った指導方法や評価について考察する。また、グループワークにより年間指導計画や単元計画を作成することで実践力を高める。									アクティブラーニングの有無(内容)			有		
授業の到達目標			①学習指導要領における目標・内容を理解する。 ②実践例を通してカリキュラム・マネジメントの視点に立った教材化や授業方法を理解する。 ③教科横断的な学習に留意しながら、指導計画や単元計画を作成することができる。 ④探究的な学習における学習指導について理解する。									グループディスカッション、グループワーク					
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容													
			1	総合的な学習の時間の目標・内容 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			2	総合的な学習の時間での「主体的・対話的で深い学び」 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			3	課題設定の仕方 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			4	情報収集の仕方 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			5	整理・分析の仕方 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			6	まとめ・発表の仕方 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			7	全体計画・年間指導計画の作成 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			8	探究課題「横断的・総合的な課題」について 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			9	探究課題「地域や学校の特色に応じた課題」について 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			10	探究課題「児童の興味・関心に基づく課題」について 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			11	グループごとの研究 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			12	グループの発表1(1班～7班の発表) 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			13	グループの発表2(8班～14班の発表) 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
			14	「総合的な学習の時間」での指導と評価の一体化 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
15	これからの「総合的な学習の時間」の指導 予習:(90分)Google Classroomに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
教科書・教材			小学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)														
参考書・参考文献等			・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 総合的な学習の時間) 国立教育政策研究所教育課程研究センター ・(小学校編)今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 文部科学省														
履修上の注意等			「総合的な学習の時間」の学習内容を理解し、指導法について考えていきます。講義内容は事前にGoogle Classroomに掲載するので、目を通して自分の考えや疑問点をまとめてから講義に臨んでください。														
実務経験との関連			実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方、指導計画の作成の仕方、授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。												

[3609] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
特別活動の指導法			講義	齋藤昭	3年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					期末レポート		50	有		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》															
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—	○	授業内提出物	30
											授業内活動	20	無			
											その他					
											計	100				
											フィードバックの方法					
当該科目のキーワード			《知識・理解》		学習指導要領の理解・生徒指導・学級経営との関連								期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。			
			《汎用的技能》		指導案構築の思考力・各活動の問題解決力								アクティブラーニングの有無(内容)		有	
			《態度・志向性》		学びに向かう姿勢								グループディスカッション、グループワーク			
授業概要			特別活動は「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、様々な課題や集団活動に自主的・実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決する活動である。このことを踏まえ、学習指導要領で示されている育成する資質・能力について「人間関係形成・社会参画・自己実現」を理解し、指導方法について考えていく。また、教科・道徳・総合的な学習の時間・生徒指導との関連について考察するとともに、指導案作成と模擬授業を通して、実践力を身に付ける。													
授業の到達目標			①特別活動(学級・児童・生徒会・クラブ(小学校)・学校行事)の各活動の内容を理解し、指導方法について考えていく。 ②特別活動と教科・道徳・総合的な学習の時間との関連を理解する。 ③「学級活動」を実践するための基本的な指導案の構成を理解し、模擬授業を通して授業展開の方法について考えていく。 ④特別活動と学級経営・生徒指導との関連について、人間関係の視点から理解する。													
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容												
			1	特別活動の目標と内容 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			2	特別活動の教育的意義と特質 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			3	特別活動と道徳・生徒指導・キャリア教育 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			4	特別活動と学級経営 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			5	特別活動の全体計画と学級活動の年間指導の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			6	学級活動(1)の内容と指導法1(内容と指導法について理解する) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			7	学級活動(1)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			8	学級活動(2)の内容と指導法1(内容と指導法について理解する) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			9	学級活動(2)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			10	学級活動(3)の内容と指導法1(内容と指導法、授業におけるキャリアパスポートの活用について理解する) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			11	学級活動(3)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			12	児童会・生徒会活動の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			13	クラブ活動・学校行事の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			14	特別活動における指導と評価の一体化 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
			15	これからの特別活動 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。												
教科書・教材			小学校学習指導要領解説(特別活動編)													
参考書・参考文献等			「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 特別活動) 国立教育政策研究所教育課程研究センター ・特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター													
履修上の注意等			自分が教員になったらどのような指導をしていくのかを考えながら講義に参加してください。講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。													
実務経験との関連			実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、特別活動の目的、内容についての理解を深めるとともに、学級活動の模擬授業を通して、具体的な指導方法について考えていく。											

[3611] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
生徒・進路指導			講義	齋藤昭	3年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験							
			2				○	○	○		期末レポート	50	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					授業内小テスト					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内提出物	30	有	
	○	—	—	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○	—	○	授業内活動	20	無
											《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	その他						
											計	100						
											フィードバックの方法							
											○	—	—	○	○	—	○	
当該科目のキーワード	《知識・理解》		生きる力、自己肯定感、生徒指導の三機能									期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。						
	《汎用的技能》		児童生徒理解									アクティブラーニングの有無(内容)		有				
	《態度・志向性》		チーム学校															
授業概要	生徒理解なくして、あらゆる教育活動は成立しない。生徒理解の基本をふまえて生徒指導の基礎・基本について理解を深める。具体的な問題や課題をとおして、成長と発達、教育環境、集団と個などの観点から指導のあり方を考える。また、家庭科教員、栄養教諭としての役割を理解する。										グループディスカッション、グループワーク							
授業の到達目標	①生徒指導とキャリア教育の意義と方法について理解を深める。 ②生徒が抱える諸課題について、成長と発達、教育環境との関連から具体的な対処の方法を考えることができるようになる。 ③生徒指導とキャリア教育を行う際に、教師として留意すべき事項を理解する。																	
単位認定の要件	到達目標の①～③の達成が60%以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	生徒指導の理念 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	2	現代の子どもを取り巻く課題 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	3	教育活動における生徒指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	4	キャリア教育・進路指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	5	児童生徒理解の方法と学級経営 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	6	教育相談とカウンセリング 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	7	構成的グループ・エンカウンター技法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	8	ソーシャルスキルトレーニング技法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	9	不登校の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	10	いじめの理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	11	非行・問題行動の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	12	学級崩壊・授業崩壊の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	13	家庭・地域・関係機関との連携 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
	14	生徒指導と法制度 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
15	これからの生徒指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																	
教科書・教材	『生徒指導提要(令和4年12月版)』(文部科学省)																	
参考書・参考文献等	特になし																	
履修上の注意等	自分だったらどう指導するかを常に考えながら講義に臨んでください。また、講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、児童理解の仕方、問題行動への指導の仕方などについて、具体的な場面をもとに考えていく講義にしていきたい。															

[3612] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
教育相談			講義	萩堂美紀	3年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格													
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	単位認定の方法と フィードバックの有無							
				2			○	○	○		期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	○	—	○	—	—	○	○	○	○		—	—	—	—	授業内提出物	80	有
																授業内活動	20	無
														その他				
														計	100			
														フィードバックの方法				
当該科目の キーワード	《知識・理解》		児童生徒理解と共感的指導								授業内提出物は採点して返却し、 授業中に解説する。							
	《汎用的技能》		構成的グループエンカウンター															
	《態度・志向性》		カウンセリング技法、予防的対応、自己開示								アクティブラーニングの有無 (内容)		有					
授業概要	教育相談の意味や意義について理解した上で、学校現場で生じる諸問題、児童理解のための技術、カウンセリングの諸理論や予防的対応について学んでいく。また、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、アサーショントレーニングなどの演習を取り上げながら、「心を開放できる学級集団作り」のための基礎的な手法を学習する。										グループワーク、グループディスカッション							
授業の到達目標	①教育相談の意味や意義について理解できる。 ②児童理解、カウンセリング、予防的対応に必要な基本的事項を理解できる。 ③学級集団作りの具体的手法を身につける。																	
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	教育相談の意義と意味 予習:(90分) 教育相談とはなにかを調べる。 復習:(90分) 問題を解決する教育相談、問題を未然に防ぐ教育相談、心の危機サインにはどのようなものがあるか理解を深める。																
	2	児童理解①人格検査 予習:(90分) 人格検査にはどのようなものがあるのか調べる。 復習:(90分) 人格検査を通して分かった自分の性格特徴から自分自身の長所と短所について考える。																
	3	児童理解②知能検査、神経心理学的検査 予習:(90分) 知能検査とはなにかを理解する。 復習:(90分) ウェクスラー式知能検査の解釈と具体的援助について理解を深めること。自分が得意・不得意な知的能力について考える。																
	4	カウンセリングの基礎理論(マイクロカウンセリング、クライアント中心療法) 予習:(90分) クライアント中心療法とはなにかを調べる。 復習:(90分) クライアント中心療法における考え方やセラピストの基本的態度、基本的傾聴技法を理解する。																
	5	カウンセリングの基礎理論の実践(マイクロカウンセリング、クライアント中心療法) 予習:(90分) クライアント中心療法の特徴について前回の授業資料を見ておくこと。 復習:(90分) 相談場面における話の聞き方について言語・非言語それぞれの自分の課題を明確にする。																
	6	カウンセリングの諸理論(精神分析) 予習:(90分) 精神分析の特徴と考え方を調べる。 復習:(90分) 精神分析の局所論と構造的論、防衛機制を理解する。自分自身の悩みについて精神分析の観点から考えてみる。																
	7	カウンセリングの諸理論(行動療法) 予習:(90分) 行動療法とはどのような心理療法かを調べる。 復習:(90分) 行動療法の特徴と考え方、実践方法を理解する。自分の悩みを行動療法を用いて解決してみる。																
	8	カウンセリングの諸理論(認知行動療法) 予習:(90分) 認知行動療法とはどのような心理療法かを調べる。 復習:(90分) 不合理な信念と合理的な信念、認知のゆがみと認知再構成法を理解する。自分の悩みについて認知再構成法を用いて解決してみる。																
	9	カウンセリングの諸理論(短期療法の基礎) 予習:(90分) 短期療法とはどのような心理療法かを調べる。 復習:(90分) システム理論と人間コミュニケーションの語用論を理解する。																
	10	カウンセリングの諸理論(短期療法の実践) 予習:(90分) 短期療法によるカウンセリング事例を調べる。 復習:(90分) ソリューションフォーカストアプローチとMRIアプローチについて理解を深める。自分の悩みについて短期療法を用いて解決してみる。																
	11	学級づくりの手法 予習:(90分) 学級崩壊が生じる背景と要因を調べる。 復習:(90分) 自分かどのような学級づくりをしていきたいか授業をもとに具体的に考える。																
	12	いじめ(概論) 予習:(90分) これまでのいじめ事件にはどのようなものがあるのか、対策として何が行われているのか調べる。 復習:(90分) いじめ防止対策推進法のポイント、いじめ集団の4層構造の特徴を理解する。																
	13	いじめ(対応) 予習:(90分) いじめの解決方法や対応についてニュースや論文をもとに調べる。 復習:(90分) 聞き取りの内容、記録、加害者・被害者・保護者への対応を理解する。																
	14	不登校(概論) 予習:(90分) 不登校に関する最近のニュースや記事を調べ、現状について把握する。 復習:(90分) 普通教育機会確保法のポイントと不登校児童生徒への対応を理解する。																
	15	不登校(対応) 予習:(90分) 不登校児童生徒への支援に関するニュースや論文より具体的な援助方法を調べる。 復習:(90分) 不登校児童生徒への支援における職員と保護者の連携の方法を理解する。																
教科書・教材	特になし。																	
参考書・参考文献等	西本絹子「教師のための教育相談」(萌文書林) 森田健宏・吉田佐治「よくわかる！教職エクササイズ 教育相談」(ミネルヴァ書房)																	
履修上の注意等	演習や活動に積極的に取り組み、各回のレポートをしっかりと提出すること。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	有	スクールカウンセリングの経験のある教員が、学校現場で生じる児童・生徒の問題や臨床心理学的援助方法について講義する。															

[3613] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
事前事後指導			演習	葛西美樹・工藤幸子	3年	後期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無									
1	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者									
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート			
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○		○	○	○	—	○	授業内小テスト		
																	授業内提出物	40	有
															授業内活動	40	有		
															その他	20	有		
															計	100			
															フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		教育実習の心構え、学校における教育課題								授業内提出物、授業内活動は授業内でコメントをする。								
	《汎用的技能》		伝える力								アクティブラーニングの有無(内容)		有						
	《態度・志向性》		積極性、協調性、教育実習生としての自覚																
授業概要	事前指導では、各学校で行う家庭教育実習の意義、必要な知識・態度・心構え等について学ぶと共に、実際の実習や授業を想定して事前に自己紹介、文字の書き方、筆順、模擬授業等を行う。 事後指導では、教育実習での経験を基に、報告会等を通して自己評価し、教師としてあるべき姿を探究する。										グループワーク								
授業の到達目標	具体的には、次の事項を学習し、家庭科教師としての心構えを学習する。 ①家庭科教育実習の意義、内容、心構えを理解する。 ②学校の組織、学校の中で取るべき教師としての望ましい態度を理解する。 ③模擬授業等を通して、実際の事項について学ぶ。																		
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上であること。教育実習報告会に参加すること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	授業内容、到達目標 事前事後指導の位置づけ 予習:(0分) 復習:(45分) テキストを読んで振り返る。																	
	2	家庭教育実習の意義と目的 事前事後指導の内容 ①事前指導の内容				場面に応じた自己紹介(学級)													
		予習:(20分) 自己紹介コメントを準備する。 復習:(25分) テキストを読んで振り返る。																	
	3	事前事後指導の内容 ②教育実習の心構え ③事後指導の内容				場面に応じた自己紹介(職員室)													
		予習:(20分) 自己紹介コメントを準備する。 復習:(25分) テキストを読んで振り返る。																	
	4	教育実習の内容 ①教育実習の形態				場面に応じた自己紹介(体育館)													
		予習:(20分) 自己紹介コメントを準備する。 復習:(25分) テキストを読んで振り返る。																	
	5	教育実習の内容 ②学校の組織																	
		予習:(0分) 復習:(45分) テキストを読んで振り返る。																	
	6	観察実習事前ガイダンス 観察の視点、諸注意等																	
		予習:(0分) 復習:(45分) テキストを読んで振り返る。																	
	7	観察実習①																	
		予習:(45分) 配付された学習指導案を事前に見る。 復習:(0分)																	
	8	観察実習②																	
	予習:(0分) 復習:(45分) 観察実習で学んだことをレポートにまとめる。																		
9	教育実習の評価 ①実習の記録と評価 ②実習終了後の対応																		
	予習:(45分) 自己紹介コメントを準備する。 復習:(0分)																		
10	板書練習、ICT機器の使い方																		
	予習:(45分) 板書計画を考える。 復習:(0分)																		
11	文字の書き方、筆順の確認																		
	予習:(0分) 復習:(45分) 文字の書き方、筆順を振り返る。																		
12	板書練習																		
	予習:(45分) 板書計画を考える。 復習:(0分)																		
13	ICT機器の使い方																		
	予習:(0分) 復習:(45分) 電子黒板を使用した指導内容について考える。																		
14	学級における連絡事項の伝達と指導																		
	予習:(45分) 事前に示した学級指導例から選択し、指導方法を考える。 復習:(0分)																		
15	教育実習報告会																		
	予習:(25分) 質問事項を準備する。 復習:(20分) 報告会の内容を振り返り、自身の考えをまとめる。																		
教科書・教材	配付する「教育実習の手引」を使用する																		
参考書・参考文献等	中学校学習指導要領解説 家庭分野(文部科学省)、高等学校学習指導要領解説 家庭(文部科学省) 家庭科に関する各社の教科書																		
履修上の注意等	家庭科教員として、望ましい態度・心構えを身につけること。 学外で実習することを念頭におき授業を進める。遅刻や欠席のないよう体調管理に気を付ける。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	無																	

【3617】 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
栄養教育実習(事前事後指導を含む)			実習	前田朝美	3・4年	後期	健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無		
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			2		○	○	○	○	○	○	○	○	○
《知識・理解》			《汎用的技能》			《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
基礎知識の体系的理解			コミュニケーションスキル			自己管理能力					期末レポート		
多文化・異文化			数量的スキル			チームワーク					授業内小テスト		
文化・社会・自然			情報リテラシー			リーダーシップ					授業内提出物 40 有		
○			○			○					授業内活動 40 有		
-			-			-					その他 20 有		
-			-			-					計 100		
○			○			○					フィードバックの方法		
《知識・理解》			学校の組織			授業内提出物(指導案等)及び授業内活動(模擬授業等)の評価と解説を授業内で行う。また、事前準備に関わる提出物に対して、随時、修正と助言をする。					アクティブラーニングの有無(内容) 有		
《汎用的技能》			指導案の書き方、授業研究、模擬授業										
《態度・志向性》			教育実習の心構え、学校における教育課題										
授業概要			事前指導では、各学校で行う栄養教諭教育実習の意義、必要な知識・態度・心構え等について学ぶと共に、実際の授業を想定して指導案の書き方、模擬授業等を行う。栄養教育実習へ向けて、自己の課題を発見し、自己学習に取り組む。									調査学習、グループディスカッション、グループワーク、模擬授業	
授業の到達目標			①栄養教諭教育実習の意義や目的、内容、心構えを理解する。 ②学校の組織について理解する。 ③教師として、学校の中でとるべき望ましい態度を習得する。 ④指導案の書き方、模擬授業等を通して、食に関する指導の実践に積極的に参画できる。										
単位認定の要件			到達目標の①～④の合計が60点以上										
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>I 栄養教諭教育実習の意義と目的 II 事前事後指導の内容(事前指導の内容、教育実習の心構え) III 教育実習の内容 ①学校の組織 ②学習指導1 指導案の書き方と作成 ③学習指導2 授業方法について ④学習指導3 オンライン授業の方法について ⑤子どもの実態と指導の実際1 教科時間における指導 ⑥子どもの実態と指導の実際2 給食時間における指導 ⑦子どもの実態と指導の実際3 個別相談指導 ⑧子どもの実態と指導の実際4 給食だよりの作成 IV 模擬授業の実施 ①授業の仕方、班編成とテーマについて ②模擬授業1回目 ③模擬授業2回目 ④模擬授業3回目 ⑤模擬授業のまとめ、討論 V 教育実習の記録の書き方とまとめ</p> <p>【授業時間外学習の指示】 講義前に予習30分と当日に復習15分を目安に行い、到達目標の達成に努めること。</p>										
教科書・教材			栄養教育実習の手引き、実習ノート等を使用する。										
参考書・参考文献等			金田雅代著 四訂栄養教諭論～理論と実際～(建帛社) 食に関する指導の手引き～第二次改定版～(文部科学省)										
履修上の注意等			4年次前期の15時間と合わせて、単位が完結となります。										
実務経験との関連			実務経験の有無 無										